

各位

2022年2月18日
(公財)大田区文化振興協会Art Exhibition
徹虚 TEKKYO 加藤智大

【展覧会概要】

タイトル:徹虚 TEKKYO 加藤智大

会 期:2022年2月26日(土)~3月12日(土)

開場時間:11:00~16:30(最終入場 16:00)

会 場:HUNCH(東京都大田区西蒲田 7-61-13 1階)

蒲田駅西口下車徒歩 6 分(JR 京浜東北線/東急多摩川線・池上線)

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

休 日:月・火

観 覧 料:無料(予約制)前日までにお申し込みください。人数制限有。当日直接お越しの場合、予約者優先。

予約方法:専用応募フォームは、こちら HP: <https://bit.ly/3ACcKDU>

主 催:公益財団法人大田区文化振興協会、大田区

協 力:TEZUKAYAMA GALLERY、HUNCH、ソシオ・ミュゼデザイン株式会社、醍醐ビル株式会社、
ART FACTORY 城南島

関連イベント:呈茶(予約制)

内 容:《鉄茶室 徹亭》内で略式のお茶体験。お気軽にご参加ください。

日 時:2022年3月5日(土)、11日(金)、12日(土)

①11:40~ ②14:00~ ③15:20~ (各回定員6名まで)

会 場:HUNCH(東京都大田区西蒲田 7-61-13)

参 加 費:500 円(当日会場)

参 加 方 法:前日までにお申し込みください。人数制限有。先着順。

専用応募フォームは、こちら HP: <https://bit.ly/3ACcKDU>

対 象 者:小学生以上どなたでも

協 力:辻本桃子、大田区華道茶道文化協会、
餅匠しづく

関連イベント:アーティスト・トーク(YouTube 公式アカウントから映像配信)

出 演:加藤智大(アーティスト)

聞き手:秋元雄史(東京藝術大学名誉教授/練馬区立美術館館長)

配信開始日:未定(3月下旬)

お 問 合 せ:TEL 03-3750-1611 (文化芸術振興課 担当:荻野)

M A I L: ogino@ota-bunka.or.jp《鉄茶室 徹亭》2013年
©岡本太郎美術館

【概要】

加藤智大（1981-）は、東京生まれ、多摩美術大学大学院修士課程工芸専攻を修了しています。金属加工会社に勤務後、鉄を素材とした作品制作を開始しました。金属工芸科で学んだ技術を活かし、身近な日用品を鉄で精巧に模倣する作品を制作し続け、2013年「第16回岡本太郎現代芸術賞」に出品の《鉄茶室 徹亭》で岡本太郎賞を受賞。近年は酸化鉄を使った絵画「iron-oxide painting」や、干渉縞（かんしょうじま）の視覚効果を用いた鉄線の立体「anonymous」シリーズなどを手掛けています。どの作品も鉄を支持体に、物質と社会の関わりを模索しています。

本展では、加藤の代表作にして岡本太郎賞受賞作品《鉄茶室 徹亭》2013年を展示します。本作は、二畳台目出炉下座床（にじょうだいもくでろげざどこ）の草庵小間を、一室すべて原寸大のまま鉄にうつした茶室です。簡素な佇まいは、茶の湯の粋、「寂び」の情趣を有し、茶室内は、鉄でしつらえた茶道具一式が鎮座しています。鉄という物質を介して、物質の持つ役割、質感の再認識をコンセプトにした鉄の模倣シリーズの集大成である本作を、この機会にぜひご高覧ください。

本展は大田区の文化資源とともにアートを創り、地域の活性化を目的としたOTAアート・プロジェクトの一環です。現代アート部門《マチニエヲカク》では、大田区の街なかにアートを仕掛け、新たな風景を創出します。この度、区内のスタジオに入居していた加藤智大を地域ゆかりのアーティストとして作品を展示します。また、会場は、蒲田にあるアトリエビル・HUNCH（ハンチ）。クリエイターのためのアトリエビルであるこちらの特別なご協力により、本展が実現されています。

最後に、本展タイトル『徹虚』の“虚”は岡倉天心が、明治期に茶の湯の精神を説いた『茶の本』の一節「物の真に肝要なところはただ虚にのみ存する」からきています。茶碗は、空虚を茶で満たすことでその本分を得るように、茶室もまた客人を迎えてその本分を得ます。本作品、そして街なかにアートを仕掛ける本プロジェクトもまた然りです。

【作家略歴】

加藤智大（KATO Tomohiro）東京都在住

1981 東京都生まれ

2006 多摩美術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻修了

国内外で個展、グループ展、アートフェアにて作品を発表。

2020.12. シェル美術賞 2020 / 入選

2020.03. KAIKA TOKYO ART AWARD 2020 / 審査員賞

2019.04. "Anonymous" / TEZUKAYAMA GALLERY / 大阪

2017.03. TARO 賞 20年 20人の鬼子たち / 岡本太郎記念館 / 東京

2015.11. 鉄茶室徹亭 @ART TAIPEI / 世界貿易センター / 台北 / 台湾

2015.03. "Hidden matter" VOLTA NY / Pier90 / ニューヨーク

2014.06. 鉄茶室徹亭 @VOLTA BASEL / MARKTHALLE / バーゼル / スイス

2013.11. 太陽と鉄 / 岡本太郎記念館 / 東京

2013.08. 16th International Sculpture Symposium in Icheon / 利川市内公園 / 韓国

2013.02. 第16回岡本太郎現代芸術賞 / 岡本太郎賞 / 川崎市岡本太郎美術館 / 神奈川

2012.05. LiFe is steel full / TEZUKAYAMA GALLERY / 大阪

2011.10. Geisai Taiwan#2 / 片山正通賞

2008.10. アミューズアートジャム 2008 / 入選



【本展の見どころ】

①《鉄茶室 徹亭》2013年

若手芸術家の登竜門として知られる「岡本太郎現代芸術賞」の2013年に岡本太郎賞を受賞した作品です。本作は、二畳台目出炉下座床（にじょうだいもくでろげざどこ）の草庵小間を原寸大のまま鉄にうつした組み立て式の茶室です。設えだけではなく、茶道具も全て鉄にうつしています。日本の伝統的意匠と工業製品の意匠が入り混じる茶室をお楽しみください。

②関連イベント 呈茶 3/5(土)、3/11(金) 3/12(土)

《鉄茶室 徹亭》の内部に入り、略式のお茶をいただきます。鉄の茶道具一式で点てるお茶を一服、鉄の物質感とその味をご堪能いただけます。当日は、茶室内で作者の加藤との会話もお楽しみいただけます。公式HPから日時指定予約制。有料（500円）。

③HUNCH（ハンチ）

この度の会場は、蒲田にあるアトリエビル・HUNCHです。クリエイターが入居するビルであるこちらの特別なご協力により、この度の展示を実現しています。

④OTAアート・プロジェクト | マチニエヲカク

公益財団法人大田区文化振興協会が主催する地域密着型のアート・プロジェクトです。大田区の文化資源（ヒト・モノ・コト）とともにアートを創り、地域の活性化を目的としています。現代アート部門《マチニエヲカク》では、街なかにアートを仕掛け、新たな風景を創出します。

この度の展覧会は、本プロジェクトの一環として、大田区内のスタジオに入居していた加藤智大を、地域ゆかりのアーティストとして取り上げ、作品を紹介します。

《マチニエヲカク》過去の実績 HP: https://www.ota-bunka.or.jp/event/sponsored/ota_art_project/draw_in_the_city

・第1弾「水と風のひかり」（インスタレーション展示） 中島崇（現代美術作家）×洗足池公園

2020年9月19日（土）～10月11日（日）

・第2弾「蒲田リアクター計画」（映像YouTube） 市川平（特殊照明作家）×モニュメント「上昇気流」

（公財）大田区文化振興協会 YouTube 公式アカウントにて映像を公開中

■公益財団法人大田区文化振興協会について

名称 : 公益財団法人大田区文化振興協会

代表者 : 理事長 津村 正純

所在地 : 東京都大田区下丸子 3-1-3 大田区民プラザ内

設立 : 1987年(昭和62)7月

URL : <https://ota-bunka.or.jp/>

事業内容 : ・地域の文化拠点施設の管理運営

・コンサート、展示等の様々な芸術・文化振興事業の主催と実施

・区民の自主的文化活動の支援 等

お問合せ (公財)大田区文化振興協会 文化芸術振興課

担当: 荻野 祐子

Tel: 03-3750-1611 Fax: 03-3750-1150

Mail: ogino@ota-bunka.or.jp